

教科・領域【 公民科 】 科目【 現代社会 】

学科・コース		学 年	第 1 学年	単位数	2 単位
--------	--	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

<p>1 現代に生きる私たちの課題を、広い視野に立って、多角的・主体的に考察し、公正な判断力を身につけることを目指します。</p> <p>2 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、現代の社会と人間についての理解を深め、自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養うことを目指します。</p>
--

2 使用する主な教材等

<p>(1) 使用教科書、副教材等 最新現代社会（実教出版）、ニュービジョン現社（浜島書店）</p>
<p>(2) 授業で配布するもの 時事問題に関し、新聞等を資料として適宜使用します。</p>

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考査範囲等
一 学 期	1 自分らしく生きる	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の特徴を学びます。 ・ 自立の意味を考え、社会参画の必要性を学びます。 	中間考査
	2 人間としてよく生きる	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活において、宗教や芸術と私たちのかかわりについて学びます。 ・ 人間の尊厳と平等の精神、生命への畏敬について学びます。 	期末考査
	3 地球環境問題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球規模の環境問題にはどのようなものがあるか、さまざまな環境問題と人間の活動とのかかわりについて学びます。 	
	4 資源・エネルギー問題	6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源の有限性について理解を深め、資源を有効に利用するためにどうしなければならないか学びます。 	2 学期中間考査
	<p>《課題・提出物等》 各考査後に授業でまとめたノートを提出します。</p>			
	<p>《1 学期の学習状況の評価方法》 定期考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。</p>			

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考査範囲等
二 学 期	5 現代国家と民主政治	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家のあり方と、基本的人権と法の支配について学びます。 ・ 主権国家とは何か、国際法、領土問題について学びます。 ・ 世界のおもな政治制度を学びます。 	中間考査
	6 日本国憲法の基本的性格	10		
	7 日本の政治機構と政治参加	11		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本国憲法の基本原理や平和主義・日本の安全保障について学びます。 ・ 自由権・平等権・社会権と公共の福祉について学びます。 ・ 国会・内閣・裁判所に関する仕組みを学びます。 ・ 地方自治と住民の福祉、選挙制度の現状と課題について学びます。
	8 現代の経済社会と国民生活	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業の活動と役割、企業の社会的責任について学びます。 	
《課題・提出物等》 各考査後に授業でまとめたノートを提出します。				
《2学期の学習状況の評価方法》 定期考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。				
三 学 期	9 国際社会と人類の課題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場の基本である「需要と供給の関係」について学びます。 ・ 財政の仕組みと役割、金融のしくみと政策について学びます。 ・ 国際社会の成立と国際平和について学習し、国際社会における日本の役割、国際社会における一人ひとりの課題について考えます。 ・ 科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたのか、また、科学技術の発達にともなう問題について考えます。 	学年末考査
		2		
	3	10 生命科学と情報技術の課題		
《課題・提出物等》 考査後に授業でまとめたノートを提出します。				
《3学期の学習状況の評価方法》 定期考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。				
《年間の学習状況の評価方法》 年間を通じた学習過程で、現代社会への関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解について、生徒の達成度を評価し、定期考査の状況や提出物の内容および出席状況などと総合的に評価します。				

